

# 町小だより

平成 24 年  
4 月 24 日 (火)  
No. 526  
御免町小学校

## つながる心

校長 前田 清

まだ寒さの残る中での4月のスタートでした。ようやく桜も咲き、春本番です。暖かな日差しに包まれて登校する子どもたちの顔もほころんでいるように見えます。そんな中で、うれしいのは、自分からしっかりと挨拶ができる1年生が多いことです。張り切って登校している様子がよく分かります。



16日からは1年生の給食も始まり、全校が通常の授業体制で動いています。子どもたちの学習態度は落ち着いており、担任とともに真剣に取り組む姿が見られます。集団で生活する学校ですから、いろいろなルールがあったり、目標があったりします。教育目標は「みんなとともに生き 自分の力をせいっぱい伸ばしていく子ども」です。1年ずつ、そして6年間をかけてこの目標を実現していきます。何と言っても、日々の積み重ねです。一朝一夕に子どもは成長するわけではありません。伝統に培われながらも、常に新しい試みを実行していく気風が学校になくてはなりません。

先日、「昔の卒業生です」という方からメールをいただきました。久しぶりに新発田を訪ねて学校の周りを散歩し、前庭に今もある啓明像を見られての感想でした。啓明像が、凜とした姿で登校してくる子どもたちを見守っていると思うと、懐かしさとともに学びの原点を感じさせられたという内容でした。卒業し、何十年経っても母校のことを忘れずにいてくださる方が居られることに、よい意味での緊張感を持つことができました。

ノーベル平和賞を受賞し、日本を訪問したこともある故マザーテレサは、「愛の反対は憎しみではなく、無関心なのです。平和の反対は、平和と戦争に対する無関心です。無関心が悪なのです。」と言っていたそうです。「感じること」「つながること」の大切さを改めて感じさせられます。小さな社会の一つである学校に通ってくる子どもたちは、学校で友達とつながりたい、クラスの子と仲良く過ごしたいという思いを強く持っています。だから、自分に関心を持ってもらいたいのは当然です。だからといって強引に自分に引き込もうとすれば、うまくいきません。そこで必要になってくるのが大人の支援です。学校では、個が、そして集団が快い経験をすることで、より良くより強くつながり合えるようにすることを目指しています。

また、私たち教師集団は、例えば、報告・連絡・相談・確認を怠らなく行える組織になるよう努力することで、互いのつながり強め、教育に反映できるようにしています。

1年生の給食の様子を見に行ったときの事です。「校長先生、どうして、朝、玄関の所にいなかったの。ぼく、せっかくあいさつしようと思ったのに。」と話し掛けられました。実は、その日は、どうしても朝のうちに打ち合わせしておかなければならないことがあり、玄関前に行かなかったのです。しかし、そういう言葉が発せられたことは、うれしくもあり、1年生の真剣さを学ぶことにもなりました。大人も子どもも、心のつながり方をいろいろなことで学んでいきます。

平成24年度も御免町小学校へのご支援をよろしく申し上げます。

# 町小の新しいお友達です。よろしくね！

先日 18 日(水)に 1 年生と 2~6 年生の対面式を行いました。児童会の運営委員会の子どもたちが、企画、運営をしてくれました。

91 人の元気な 1 年生が入学して、町小の子どもたちは 545 人になりました。みんなで仲良く、楽しい学校生活を送っていきましょう。



6 年生と手をつないで入場です。



2 年生からマルモリダンスのプレゼント



1 年生が元気に歌を歌ってくれました。



ペンダントのプレゼントもありました。

## 新ウェブページのお知らせ

御免町小学校のウェブページをリニューアルします。5 月 2 日(水)よりご覧いただける予定です。

なお、今後、運動会実施の有無等のお知らせは、町小ブログで行います。よって、携帯電話等で確認される方は、町小ブログをブックマーク(お気に入りに追加)してください。

### お詫び

前号 525 号で紹介しました職員の名前に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

6 年 2 組担任 (誤) 大橋 賢明 → (正) 大橋 賢昭